並木中等story

令和４年６月７日号

心の研究

今日は梶田叡一先生の著書『内面性の心理学』（大日本図書）の記述を紹介します。皆さんは“心”とは何だと思いますか。先生は「心とは、一人一人の内面における主体的な働きのことであり、それに伴う内面の有り様のことである。具体的には、その人をその人であらせている、その人固有の意識の在り方、感情や思い、願いや望み等の在り方、そして周囲の世界や自分自身を統制し調整しようとする働きのことである。」と書いています。そして、心の研究は“一人一人によって生きられているトータルな「現実」”を重要視しているということでした。難しいことを書きました。

心のことについて大切なことは、その人が見ている、感じている「現実」なのです。そして、それはその人以外の人が見ている現実とは異なることが多いことを理解しておかなければなりません。人は他人に対して“あの人はこうだ”と批評、批判してしまうことがあります。しかし、これはあくまでも他人からの見立てであり、その言葉が正しいとすることはできないのです。

《学校説明会を８月６日に開催！》

小学生及びその保護者対象の学校説明会を８月６日（土）にノバホールで開催します。10時30分からと13時からの２回同じ内容で実施します。申込はＷｅｂで行います。受付開始日時は、後日お知らせいたします。